



第52回 入園・入学式を 挙行いたしました

4月12日の朝、幼稚部から高等部までのご入園・ご入学園児児童生徒と、その保護者様をお迎えして、第52回 トロント補習授業校入園・入学式をウイノナ校講堂で行いました。ご来賓として、日頃より本校をご支援いただいておりますトロント日本商工会から高木幹雄会長、本校学校運営委員会から久保篤委員長、並びに学校運営委員の皆様方のご臨席を賜りました。

高木様からはご祝辞をいただきました。入園、入学する子どもたちに向けて、Diversity、日本語では「多様性」と言い、ここカナダを象徴するキーワードの一つです、と子どもたちへ語り掛けられました。ここでは日本では経験することがないいろいろな考え方や人と巡り合うことができ、皆さんのこれからの人生にとって、かけがえのない経験となると確信しています。勇気をもってしっかり挨拶をして、出会うみんなと友達になってください、と励ましのお言葉もいただきました。

幼稚部18人、小学部46人、中学部31人、高等部14人、合計109人の新入生が、本校での学びと交友関係の広がりによって、大きく成長していかれることを期待いたします。



高木商工会会長さまよりご祝辞

入園・入学式式辞



入園入学生(手前)と在校生(奥)

入園・入学式では、私からは、保護者の皆さまへのお祝いと、子どもたちに頑張ってもらいたい基本「いろは」について話しました。

「い」っしょうけんめい、授業と宿題に取り組みましよう

「ろ」うかはあるくようにして、安全にすごしましよう

「は」い！といい返事をして、体も心もすっきりしましよう

本校に通い続け、学ぶことを通して、

日本の教科の学習や日本の文化

も、頭や体、心の中にたくさん吸収して、

カナダに住む日本人、または、日本にゆかりのある人として、誇りと価値を高めていってほしいと願っています。



「いろは」ができる子に

令和7年度 始業式も行いました

入園入学式を行った後、マクマリック校体育館では、入園入学式には参列しなかった幼稚園年長児、および小学2～4年生の児童に向けて、令和7年度1学期の始業式を行いました。子どもたちには、二つのことを話しました。

一つ目は、「補習校では日本の学校と同じ量の国語、算数などの学習を1年間でしっかりと皆さんに身につけられるように進めていきますから、『授業』と『宿題』を両方頑張ってください。」と伝えました。

もう一つは、「補習校ではグループで相談したり、考えをまとめたり、みんなの前で発表したりという、学校にいるからこそできる学び合いの学習を進めます。授業やLHRなどを通して、週に1回しか会えない仲間と仲よく過ごしてください。そして、仲間、友達と一緒に賢くなっていきましょう。」と伝えました。

それぞれに事情があり、現地校の宿題に追われたり、体調を崩していたり、ご家族の行事があったりということもあるのかもしれませんが。たまにそうしたことがあって宿題が終わっていないときでも、登校していただきたいと思います。通い続けて、授業と仲間を大切にすることで得られるものが補習校の学校生活にはあると考えています。子どもたちが元気に登校し、授業がよく分かり、笑顔で下校できる、楽しいロント補習授業校であるように、教職員一同、力を尽くしてまいります。保護者の皆さま、どうぞよろしくお願いいたします。



気持ちも新たにスタートしました

小学部3・4年「理科」専科担当教員変更のお知らせ

小学部3・4年「理科」専科担当教員を、村山有紀とお伝えしておりましたが、久川 幸子(ひさかわ さちこ)に変更いたします。どうぞよろしくお願いいたします。

お知らせ

「学級写真」を撮影します

各学級ごとに、学級写真撮影を
4月26日(土)に行います。

欠席者は、5月3日(土)、または、
5月10日(土)に個別に撮影します。

(予備日)



お願い

「掲載承諾書」について

学校だより、学級だより等へのお子さまの画像や名前、作品掲載の可否については、4月12日(土) 配付の「掲載承諾書」の保護者様の意向に沿って行います。ご理解、ご協力をお願いいたします。

